

2015年 11月 24日発行

# 縦横夢人

2015年 秋 10号



2015年 秋の大バーベキュー大会

## 兵庫頸髄損傷者連絡会

ホームページ: <http://hkeison.net/>

E-mail : [hkeison@yahoo.co.jp](mailto:hkeison@yahoo.co.jp)

## 縦横夢人「No.010」

島本 卓

2014年冬6号から若手メンバーで機関誌の発行を再開することができました。

発行再開から1年になりますが、今回で兵庫頸髄損傷者連絡会・機関誌「縦横夢人 No. 010」の発行ができたことを大変嬉しく思っています。

機関誌の編集をし始めた頃に、私の目標は「チャレンジ」としていました。今思えば沢山の方と出会って行くうちに「頸髄損傷」であることを忘れてしまう程、私にとって大きな経験と時間を過ごすことができたと感じています。「つながる」って、めちゃくちゃいいですね。

頸髄損傷だからと不安な時期もありましたが、今だから言える「絶対無理」はもう私の中から消え去っているのでしょうか。時の流れに身をまかせて、進化し続けられる自分でいたい。

過去には戻れないし、将来がどうなるかも決まってないのなら「過去、今、将来」の中で、今を「楽しむ」ことが一番なんだと思います。

会員をはじめとする頸髄損傷者への情報提供や会活動に対する理解を得るための情報発信。同じ境遇で同じ体験を持つ仲間だから、共に支え合っていきたいとの思いを持って、これからも兵庫頸髄損傷者連絡会・機関誌「縦横夢人」の発行をしていきます。

## も く じ

特集「兵庫のグルメ」	(島本、N、I、土田、宮野、山本、米田)	2
活動報告「秋の大バーベキュー大会」	(M・H、Y・K、米田進一、学生)	14
会員報告「はがき通信懇親会 in 横浜」	(山本智章、H・F)	19
会員報告「国際福祉機器展 H.C.R 2015」	(島本卓)	22
会員報告「灘のけんか祭り」	(土田浩敬)	24
会員報告「京都・大阪合同交流会」	(I・Y)	25
活動報告「定例会報告」	(島本卓)	26
行事のお知らせ		27
入会案内		28



特集

# 兵庫のグルメ

## ～お勧めしたいお店～

### 絶品料理が満載！



兵庫県

今回の特集は「兵庫のグルメ」と題して兵庫メンバーが皆さまにお勧めしたいお店を紹介させていただきます。食べることは楽しみのひとつだと思います。車椅子で入れるお店を探すのはインターネットの情報だけでは難しいです。そこで、実際にお店まで行くことにしました。また、兵庫県の美味しい食べ物を紹介できればと思い、東は神戸、西は姫路、南は明石、北は三田と広範囲に渡りお店の取材をしてきました。皆さまにお勧めしたいお店だからこそ、お店の許可を得てお店の人に知ってもらったうえで縦横夢人に掲載することになりました。お店の人も車椅子の方が食べに来られると親切な対応をして下さると思います。意外と知らないだけで車椅子でも入れるお店は沢山あることに気づきました。

それでは、兵庫メンバーが東西南北と駆け廻り探してきたお店をご覧ください。 (山本 智章)

## 姫路名物

紹介者 島本 卓

みなさんに紹介したいのは、姫路駅前グランフェスタ地下にある姫路名物「まねきのえきそば」。カウンター席とテーブル席で食べることができる。終戦後の1949年、姫路駅で統制品である小麦粉の代わりにこんにゃく粉とそば粉をまぜたそばを販売したのが、『えきそば』の始まりである。現在は姫路駅を中心に、加古川や大阪などでえきそばを味わうことができる。そもそも立ち食いそば屋なんです。

いつも食券で注文するのが「天ぷらえきそば」360円。名前の通り天ぷらが入っているのですが、えきそば最大の特徴は、麺が日本そばではなく、かんすいを入れた中華麺であるということ。スープは和風だしで、「そば風のラーメン」と表現してもいいかもしれない。もちろん「うどん」、「和そば」を選ぶこともできますよ。

驚き!スピードと美味さ。券売機で食券を購入。注文してから1分という早さでカウンターに運ばれてくる。旨味が凝縮された和風だしに、天ぷらの油がキラリと輝きながらもアッサリしています。飲み干してしまいたいスープである。天ぷらが和風だしをたっぷり吸って「もうこれ以上吸われへん」と聞こえたら、中華めんと一緒に食べる。私流の食べ方ですが、これが相性抜群なんです。また七味唐辛子を加えてのピリ辛バージョンも。和と中が一体になった美味しさをお楽しみいただきたい。

姫路名物「まねきのえきそば」を自宅で楽しむことができます。持帰り、通販でも購入することができます。えきそば生麺1パック(2人前)が540円。えきそば乾麺1パック(3人前)1080円。

世界遺産・国宝の姫路城(兵庫県姫路市)が、5年に及ぶ大天守の修理を終えた。塗り替えられた城壁は別名「白鷺城」と称される。是非、姫路へお越し下さい。

えきそばグランフェスタ店



カップ麺 えきそばもあります!



天ぷらえきそば



## 車椅子でも行ける美味しいお店紹介

紹介者 N・M

神戸でお勧めしたいお店という記事の依頼で報告します。昔からの行きつけで、かれこれ20年くらい通っています。美味しい食事を食べたい時はやっぱりここです。ベーカリー神戸屋さん。まずは、場所の説明からします。私が行くお店は、神戸屋御影店、駅からでは坂道があり、JR住吉駅から少し離れた場所にあります。正直、車が無いと少し厳しいです。道路沿いにお店があり、店内の感じが落ち着きゆっくり食事を楽しめます。入り口にはスロープがあり、入店して店内で食事ができます。車椅子になってからも自動車でもたまに食べに行きます。首都圏、名古屋、大阪駅前、関西県内に展開している全国展開チェーン店、私がよく利用している店は、神戸屋御影店です。土日は間違いなく混み合うので、事前に予約を入れておけば、待たされる事ありません。ちなみに、平日の昼過ぎが空いているお勧めの時間帯です。気になる方はネット「神戸屋レストラン」で検索をしてみてください。

先日も行ってきましたが、今回は、グルメ情報記事と言う事で、いつもと違うメニューをオーダーしました。メイン料理は、牛肉のタリアータ、バルサミコソース、魚料理の単品に、真鯛と活けあさりのポッリート牡蠣のグラタンと、食べ放題の焼きたてパンをオーダーしました。ビジュアル的にも抜群です。グルメリポートではありませんが飲み込んでしまうのが勿体無い。柔らかいのは当たり前ですがベースのソースが何とも言えません。甘み酸味と渋みが複雑な味付けが病みつきになります。バケット籠を下げたウエイトレスが、焼きたてパンを入れてくれます。食べ放題なのでがっつりいきたい人にはお得です。パンはいつもの定番を食べました。私のお気に入り、生地は無花果を練り込んだイチジクパンです。噛むたびに、プチプチ食感と甘味が癖になります。あと、中の生地にはオレンジピールを練り込んだミルクパンです。少食なので2~3個食べたら、お腹が一杯になるのが残念です。

初めて行かれる方への、お勧めは神戸屋特製ビーフシチュートロトロに煮込んだビーフがたまりません。口の中で肉の繊維がホロホロ溶けて、煮込んだソースをパンにちょっと浸してつけて食べる。行儀は悪いですが大好きな食べ方です。あと、海老とシチューのマカロニグラタンもお勧めします。海老がプリプリしていて、ホワイトソースも優しい、昔から変わらない味で美味しいです。

持ち帰りのお勧めは、カツサンド、アンチョビサンドです。パンやサンドイッチのお持ち帰りも出来るので、天気のいい日は、持ち帰り外で食べるのもありだと思います。最後になりますが、外に出る事によって体験や体感できる出来事もあります。もちろん刺激される事も。楽しめる場所はいっぱいあります。きっかけを作ることが大切で、外に出る理由づけの一つに、食事メインでチョイスするのもありだと思います。もっともっと楽しんで良いと思います。食べる事は楽しみの一つです。以上で、報告を終わります。

牛肉のタリアータ、バルサミコソ

神戸屋レストラン御影店

真鯛と活けあさりのポッリート



## お弁当たちばな

紹介者 I・Y

私は兵庫県で自立生活を始めてまだ 11 か月なのですがその生活の中でおいしい弁当屋さんを見つけたのでご紹介します。そのお店の名前はお弁当たちばなといいます。このお店は椅子に座って食べるというスタイルではなく、販売のみのお店です。このスタイルにもかかわらず 13 年続いているということは味はもちろんの事、働かれている方の人柄も人気の 1 つではないでしょうか。このお弁当たちばながあるところは、私が仕事で行くフローラ 88 というショッピングセンターの中にあります。私がお店を紹介したいと思った理由はおにぎりが美味しかったからです。えっおにぎりと思われた方もおられると思うのですが一個 120 円でこのボリューム、そしてこの旨さは一度食べたらやみつきになること間違いなしです。その名も玉子おにぎり！どのようなおにぎりかといいますと外には薄焼き卵がまかれていて豪華になり中にはさまざまなお具が入ります。しかもその具の大きさに驚かされます。コロッケだと一個丸ごと入っており唐揚げも一個が大きいです。ご飯にも一工夫されていて具材の味を生かすように味がついており普通のおにぎりとは違います。具材はこのほかにもハムカツ、トンカツ、豚生姜味の具材がありいつ行ってもレパートリーがたくさんあって毎回注文するときにごく悩みます。このおにぎりももちろん美味しいのですが、どんぶりのほうもご紹介したいと思います。

どんぶりは具材とたくさん入っているだけのシンプルなものなのですが、具がたくさん入っていて食べ応えがあります。カツ丼だったら肉がとても柔らかく、うま味が肉にしっかり付いており、半熟の卵との相性は抜群です。豚生姜焼き丼だったら肉と玉ねぎが甘辛いタレと絶妙にマッチしていて一度食べたらやみつきになること間違いなしです。どんぶりはその他に唐揚げ丼、親子丼、エビフライ丼、天丼、辛口カレー丼がありどれを食べても間違いありません。

最後に弁当をご紹介します。海苔弁当、ハンバーグ弁当、幕の内弁当、オムライスなどがありますがお弁当たちばなで一番人気のチキン南蛮弁当をご紹介します。このチキン南蛮弁当は味も間違いのないのですが量にびっくりで鶏肉の量がめちゃくちゃ多いです。またご飯の量も多くお腹が空いているときにはとても助かります。チキンとタルタルソースとの相性がよく箸が止まりません。接客もとても丁寧で笑顔で対応してくれるので気持ちがいいです。おにぎりも弁当も温めてくれるので美味しくいただけます。どんぶりは注文してから作ってくれるのですが、手際が良くほとんど待たなくて食べられます。私の働いている事業所の職員の方もたちばなのお弁当をよく買われ、大変好評です。こんな好評なお弁当たちばなで私の BEST3 を紹介します。第 3 位はチキン南蛮弁当。ボリュームとチキンとタルタルソースとの相性が抜群！第 2 位はカツ丼。サクサク衣と半熟の卵が食欲をそそる！そして第 1 位は玉子おにぎりの唐揚げ。味付きご飯と薄焼き卵と唐揚げのすべてがマッチングしていただひたすら旨いです！これが私の BEST3 です。もしフローラ 88 に立ち寄られることがあったら一度ご賞味ください。



玉子おにぎりのトンカツ

## 三田いか焼き

紹介者 土田 浩敬

こんにちは。兵庫頸髄損傷者連絡会の土田浩敬です。今回は兵庫のグルメ特集ということで、私は現在住んでいる三田市の、安くて美味しい店を紹介させていただきます。三田市にも、沢山の店があるのですが、今回は近所にあるお店「三田いか焼き」さんを紹介させていただきます。以前から気になっていたのですが、行く機会がなくて今回初めて行ってきました。

メニューはいか焼きだけではなく、たこ焼き、焼きそば、ラーメン、どんぶりメニューは豊富にあります。そして何よりも魅力なのはその値段！！おすすめの「豚玉」（卵入のいか焼きで豚肉、焼きそば、もやしを包んであってボリューム満点）230円、たこ焼き150円、焼きそば200円、豚玉焼肉丼280円…他にも魅力的な商品が沢山あります。そして、いか焼きはソース以外にも塩ダレ、しょう油、キムチ、めんたいこ等から選べて全品お持ち帰り出来ます。

駐車場は無いのですがお店の前に停めても構わないとのこと。店員さんも優しい方で、今回の取材も快く受け入れて下さいました。店内は少し狭いのですがこじんまりとした空間が落ち着きます。ただし車椅子が大きい方は入店が難しいかもしれませんが、お持ち帰り出来るので、問題は無いのではないのでしょうか。お急ぎの方や、数量の多い方は予め電話で予約をされると便利です。TEL080-6155-2711

お店の方がアメブロをされておりますので（三田いか焼きで検索）お休みや新製品といったお店の情報を載せられています。おすすめの「豚玉」ですが、お値段とボリュームも然ることながら味も大満足！！もちもちの生地と歯ごたえのあるイカが、食べ応えあります。お値段と味が魅力的な「三田いか焼き」皆様も是非お越し下さいませ。



店内での様子

「三田いか焼き」

住 所 三田市南が丘 1-31-29-101  
 営業時間 12時～20時 日曜日 19時まで  
 電話番号 080-6155-2711  
 定休日 水曜日、第1火曜日

入口はフラットなので楽々入れます！



おすすめメニューの豚玉

## 落ち着いた雰囲気でお酒と料理を楽しむ

## 想作料理 翔

紹介者 宮野 秀樹

いつも会社の交流会や来訪されたお客様をおもてなしするときに利用しています。特にバリアフリーではないのですが、電動車椅子が4台入っても十分スペースがある広さです。とにかく料理が美味しい！創作料理なだけあって和・洋・中と幅広いメニューで目も舌も楽しませてくれます。お店の名前にもある“想作”。お客さんを思いながら作っておられるのか、料理の一品一品に丁寧で繊細な仕事を感じます。どのメニューがオススメか？と問われても困ってしまうくらいどのメニューも美味しいです。強いて挙げれば、地鶏を使ったタタキや焼きものがお酒に合って私は嬉しいですね。お酒の種類も、日本酒、焼酎、ワインと豊富です。日本酒の銘柄はあまり見かけない珍しいものが多いので、こだわりを持ってご用意なさっているのではないのでしょうか。個人的には、感じの良い器が料理に合わせて使われているので、目でも楽しめるのが大人チックでいい感じ。トイレは車椅子で使用するの難しいです。落ち着いた雰囲気、料理とお酒を楽しみたい方は是非どうぞ！「宮野に聞いてきたよ」と言っても安くはなりません。でも絶対満足できますよ！

店名	想作料理 翔（しょう）
ジャンル	居酒屋、和・洋・中華料理
TEL・予約	079-564-8620 予約可
住所	兵庫県三田市三田町6-1
アクセス	神鉄三田本町駅徒歩5分 JR三田駅徒歩8分
営業時間	17:30～24:00
定休日	月曜日



## ボリューム満点それでいて絶品！

## お好み焼き 白水

紹介者 宮野 秀樹

お昼ご飯によく利用します。三田市で間違いなくナンバーワンじゃないかというお好み焼き屋さん。人に紹介したくなるお店ですね。お店はバリアフリーではありません。電動車椅子で普通に入店できます。ただし、スペース的には電動車椅子でいられる場所が限られてしまい、しかも1台以上入るのは難しいかも。年輩のお父さんとお母さんの2人でやっているお店。見たこともない電動車椅子に最初は戸惑っておられましたが、勝手にわかるとさりげなく配慮してくれるというとても嬉しい対応でした。このお好み焼きめちゃくちゃ美味しいですよ！大きな声では言えませんが、今まで広島で何度もお好み焼きを食べてきたけど、この広島風お好み焼きは味・ボリュームともに広島のどの店をも超えています。文句のつけようがないです。はっきり言ってこの広島風お好み焼き食ってりゃ広島に行かんでもいい！（広島県のみなさんごめんなさい）いつもミックス（豚、いか、タコ、えび入り）を食べていますが、もう本当に美味しいんですよ！期間限定（11月～2月）で牡蠣入りもあります。これまた絶品！ブリブリの牡蠣がもうたまらんです。メニューのほとんどがテイクアウトできます。とにかく旨いもんをガッツリいきたい人にはオススメ！小食の人は介助者とわけわけして食べるのがベスト！是非一度行ってみてください。「宮野に聞いてきたよ」と言うと「誰やそれ？」って返ってくると思います。でも絶対満足できますよ。保証します！

店名	白水（はくすい）
ジャンル	お好み焼き
TEL・予約	0795-62-2421
住所	兵庫県三田市駅前町7-1
アクセス	神鉄三田駅徒歩1分 JR三田駅徒歩2分



## あかし多幸

紹介者 山本 智章

兵庫のグルメということで私の地元、明石と言えば“明石焼”が食べられるお店「あかし多幸」を紹介したいと思います。お店の場所は明石駅から南側に徒歩約3分で魚の棚商店街にあります。その魚の棚商店街の中央、十字路、南側にあります。入口はバリアフリーになっていてとても入りやすいです。中はテーブル席とカウンター席になっていて車椅子では椅子が移動できるテーブル席で食べることができます。お店の前に6人がけのテーブルが2つあるので外で食べることもできます。

私がお店に入ると店員さんが椅子を移動させてスペースを作ってくれたことが嬉しかったです。さっそく席に着いて「明石焼を1枚」と注文をしました。1人前で15個入りです。

さあ食べようかと思いましたが、ここのお店のメニューに明石焼のおいしい食べ方が載っていましたので紹介したいと思います。一、最初は出汁なしで、そのまま一つ。二、出汁を付けて一つ。三、出汁に“三つ葉”を浮かべて一つ。四、“抹茶塩”を明石焼に少しまぶして一つ。五、出汁に“抹茶塩”を少し浮かべて一つ。このように5つの食べ方があります。私はこの中で四の食べ方が気に入り半分ぐらい食べてしまいました。そのぐらい美味しかったです。まさか明石焼に塩をかけるなんて発想がなかったですし初めてのことでしたので新鮮味もあったと思います。

お店に来たのが11時半で帰る頃には10人ぐらいの列ができていました。少し早くに来ていたので並ばなくて良かったです。この日は土曜日だったせいなのか魚の棚商店街も沢山の人で賑わっていました。“たこ焼のルーツは明石の明石焼にあり”ここで明石焼の歴史を紹介したいと思います。

明石「明石焼」は約160年の歴史を持つといわれています。現在、明石焼を商売と始めたのは大正8年から明石焼の屋台を引いていた現在の樽屋町にお住まいだった向井清太郎さんといわれています。向井さんの明石焼は評判となり口コミで広がり人気があったそうです。そして大阪にもその評判が伝わり大阪から業者が見学に来るほど有名になったそうです。それが後に「たこ焼」となりいつしか明石の明石焼より有名になったそうです。“本場明石の「明石焼（玉子焼）」”地元では「玉子焼」の名で親しまれ別名では「明石焼」として全国的に知られています。そんな明石焼のお店が明石市内に70件以上あります。（あかし多幸ホームページより引用）

最後に“あかし多幸”の屋号は明石蛸からつけられたのか疑問のままでした。ぜひ明石に来られた際には、明石焼を食べてみてはいかがでしょうか。



お店“あかし多幸”



明石名物“明石焼”

## インパクトのあるお店「必死のパッチ製麺所」

紹介者 米田 進一

兵庫のグルメと言えるかわかりませんが、ちょっと面白そうな名前のお店をご紹介します。JR伊丹駅から約1km北西に位置する産業道路沿いに気になるその店舗名は「必死のパッチ製麺所」と言う名前からしてインパクトのあるお店でラーメンとつけ麺を売りにした、パッと見た感じ店構えは屋台風で個性のあるお店でした。お昼時だったので何人か並んでいました。約15分待ってから店内へ入りました。入り口は少し傾斜があり、問題なく入ることが出来ます。出入り口付近は車椅子でも余裕があり、オシャレな空間になっておりバリアフリーでカウンター、テーブル席、固定型席が設置されています。案内されたのはテーブル席だったけど普通に問題なく行けます。

今回注文をしたのはさっぱり系の飛魚（あご）そば味玉ありの普通（大盛りはサービス）と餃子。麺は平麺でコシがあり、歯ごたえが楽しめ、スープは出汁が利いてあっさり、生の玉葱とスープと一緒に食べると更にあっさりして、チャーシューは柔らかく香ばしい。餃子は一言で表すとジューシーで旨い。他社製造の専門店にて依頼しているそう。お店曰く、何も付けずに食べても美味しい。唐揚げは友人が注文して頂いたのですが、味は醤油ベースでニンニク味、からっと揚がっていて柔らかかったです。下にもやしが敷いてあります。今回断念したつけ麺は太麺なので、ポリームがありちょっと濃厚でドロドロ系が好きなのは良いと思います。そして入り口横に飾ってあったユニークなfacebookの囲いパネルが目につき、ノリで写真を撮りました。店長曰く、目立つようにと1ヶ月前から置いているらしく、写真を撮ったのは私が2人目だそうです。所々に色んな器や飛魚の干物があり、見所満載の店の雰囲気は店長をはじめ店員も愛想が良く、活気溢れる気持ち良いお店だったので、今度はつけ麺を食したいと思います。

必死のパッチ製麺所



飛魚そば味玉ありとパリうま餃子、肉汁からあげ



Facebookの囲いパネル いいね！



## 「明石魚の棚グルメ」

紹介者 米田 進一

またまた再登場で失礼します。今度は私の地元明石市のグルメでご紹介したいのは、観光地でもある「魚の棚」商店街。明石の海で捕れた海産物は沢山あるのですが、その中で明石焼き（玉子焼きとも言う）と蛸、練り物等、幾つか挙げてみたいと思います。まずは知っている数ある明石焼きといえば、うまいもんや「かねひで」で、ここは私が頸損になって初めて先輩頸損者と知り合った思い出のお店です。お店はまだ新しく入り口にスロープがあり店内も車椅子が数台は入れるゆとりのある感じの良いお店です。今回食べたのは明石焼き、蛸飯、穴子の八幡巻き、蛸の天ぷらを頂きました。明石焼きは15個でふんわりと柔らかく蛸の美味があり、天然羅臼昆布を使用した出汁はとても優しく、ソースに付けても美味しく頂けます。八幡巻きはごぼうを穴子で巻いた甘辛いタレに漬けたもので、ご飯やお酒のあてに丁度良く、これがまた一段と旨みを引き立たせています。蛸飯はご飯に蛸の風味が染み込んで、香りも楽しめ美味しい一品です。蛸の天ぷらはプリッとした蛸の食感が十分に楽しめ、抹茶塩を付けて食べると蛸の旨みが噛むほどに際だっていました。明石の地ビールもあり、私としてはオススメのお店です。

もう2つ紹介したい物があり、1つは「たこコロッケ」という総菜で、おやつ感覚で食べて貰いたい一品です。私が食べたのはカレー味のものですが、コロッケの中に蛸の切り身が入っていて、カレー味は好みにもよりますが、カレーの味が勝ってしまうので、普通の方が蛸の風味が楽しめると思います。2つ目は「明石屋」のイチオシ天ぷらで【タコ食べたイカ】という、名前からしてダジャレ風の珍味なのですが、タコ・タイ・イカがコラボした一本串で、おつまみに丁度良い食べ応えのあるおかずです。ここでしか買えない代物なので、魚の棚に立ち寄りの際は是非ご賞味するのも楽しいと思いますよ。

うまいもんや「かねひで」

明石焼き・蛸飯・天ぷら・穴子の八幡巻き



イチオシ天ぷら タコ食べたイカ

たこコロッケ（カレー）



## ラーメンロード

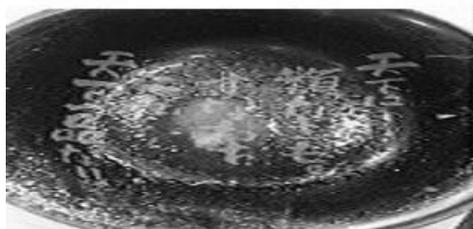
### ～自立生活を始めて地域との出会いの場を求めて～

始めまして兵庫県に住んで居る M です。19歳のころ交通事故で頸髄損傷になりました。受傷レベルはC5・6で、腕の上げ下げは出来るのですが曲げ伸ばしが少し難しいです。もちろん指は動かせないのですが、自助具を使っての食事やパソコンの作業をしています。普段は手で操作をするジョイスティックタイプの電動車椅子で生活しています。ラーメン大好きな私が今回、色んなお店を食べ歩いてきた中で「歩けないですけどね(笑)」。皆様に情報提供できたらと思い今回、報告させていただきます。

幼い頃から、大人になった今もラーメンが大好きです！障害者になってから色んな事の壁にブチ当たり何かと諦めたりすることもありましたが、ラーメン好きは変わりませんでしたね(笑)今の身体になってから麺類を自分で、どうしたら食べられるのか考えました。好きな時に好きな分だけ好きな量だけ食べたいと思いました。食事を食べていて『アレ食べたいコレ食べたい。アッ！やっぱりアレ食べよう！』…施設に居る時なんて出来なかった…何故なら…『コレ食べたいって言ったから取ったのにアレ食べたいって急に食べないでくれる？ハイ、コレ食べて』と口に入れられる事が当たり前だったからです。口を開けなかったら『子供か？いい年をして、子供みたいな事しないで！はい口開けて！』と、口を開けなかったら『もう知らない！食べさせてあげているのに！他の人も待っているのに！後は自分でどうにかして！』と、箸を置き文句を言いながら部屋を出る。そして放置状態に…他の職員が用事が入って来て『どうしたん？』ビックリされ食べさせて下さった。以前は、そういう状況が多々ありました。今は地域で暮らして自分の思う時に・自分で食べる事が出来て月に1回はラーメン屋さんに行っています！d(^▽^)b パソコンを使い情報を得て行っています。段差があったり、店内が狭く入れなかったり断念せざるをえないお店、門前払いのお店もありました。ですが、段差があっても心優しい店員さんがお店に入るのを手伝ってくれたり、店員さんだけでなくお客さんも入りやすい様に机をどけて広くして下さいたり、店員さんとお客さんが一緒になって手伝ってくれたことが嬉しかったです。心温まり大好きなラーメンを美味しく食べる事が出来ました。お店によってソレソレですが、お店に行けば新しい出会いや優しい心を「発見」感じられる事が有ると感じています。今回のお店は「天下一品」。

介助者は 味がさね というラーメンを注文されてました。

食べて行くとお椀の底から【天下に類なきものすなわちこれ天下一品なり】と文字が出て来て面白かったです。お店の店員さんが着られていたTシャツの後ろにも同じ言葉がプリントされて有りビックリしました！！



お椀の底文字と、お店の店員サン皆が同じTシャツを着て居られ、ソノ背中プリントも同じ





## 活動報告

## 秋の大バ～ベキュー～大会報告

9/27（日）大蔵海岸バーベキューサイトにて大バーベキュー大会を開催しました。今年も天候に恵まれ、参加者は総勢 67 名が集まり、美味しいお肉を食べて、おしゃべりをして楽しい交流会となりました。最後に明石海峡大橋を背景に写真を撮り無事バーベキュー大会が終わりました。今回、大阪から初参加の方と学生さんに感想を書いていただいていますのでご覧ください。（山本 智章）

## 大蔵海岸バーベキュー大会に参加して

## 大阪頸髄損傷者連絡会 M・H

こんにちは、M・Hです。大阪から来ました。2006年12月に受傷して2008年秋ごろ入会しました。兵庫頸損連のバーベキュー大会には初めて参加させて頂きました。今回、参加させて頂いた動機は何年前からか案内メールが届いていたのですが用事があつたり褥瘡で治療中だったりと参加できませんでした。今回は、早くから日程が分かっており、体調もまずまずで何より僕はお酒が好きなので参加しようと思いました。JRに乗っていると電車を挟んで山あいと海を眺めていい景色だなあと思いました。兵庫のイベント事に参加するのは初めてでアウェー感でいっぱい、JR朝霧駅に着くころにはドキドキしましたが、素晴らしい明石海峡大橋と大蔵海岸を見て重々しい気持ちは吹っ飛びました。また天候も良く最高でした。受付で島本さんが丁重に対応してくれてほっと一安心、他の方々も親切にしてくれました。乾杯の挨拶の時、坂上さんが褥瘡の事を話されていましたが僕もなりやすく、また一旦なるとなかなか治りにくいので気を付けなければいけないなあと思いました。案内されたテーブルに着くと一人の女性の方が話し掛けてきました。話を聞くとその方のご主人がこの夏に頸損になられたそうで、一番辛いのはご主人ですが奥さんも辛いんだろうなあとその時思いました。真剣にメモを取りながら質問してきたので僕もそれなりに分かる範囲で答えました。その後、同じテーブルの兵庫頸損連の方が話し掛けてきてくれて、なんじゃかんじゃ話したと思います。名刺も頂き名前と顔は覚えているのですが話した内容や記憶が曖昧ですいません。ビールの飲み過ぎだと思ひます。

それでもお二人の方と交流ができて良かったと思います。たまに、こういう場だったらなかなか声が出にくいし何を話したら良いか分からないのでシーンとしています。いわゆるコミュニケーション力が乏しいんでしょうね。四十半ば過ぎて恥ずかしく思ひます。あと途中でアンケート調査のご依頼があったのでそれはきちんとさせて頂きました。

後日、一緒に行つて頂いたヘルパーさんに聞きましたが午後2時半ぐらいから爆睡していたそうです。ビールをカップに6杯か7杯飲んでいたのでなかなかゆすつても起きなかつたらしいです。そうこうしている内に午後3時前によく起きました。その後はグダグダのまま記念撮影に参加し何人かの方と挨拶をし、帰りは介護タクシーだったので兵庫頸損連の方に駐車場まで誘導して頂き帰りました。今回、参加させて頂いたバーベキュー大会は料理まあまあ、景色、天候最高、皆さんの雰囲気最高でした。また体調が良ければ参加してお酒は入るとおもいますが少しでもどなたかと交流できたらなあと思ひました。いい思い出をありがとうございました。



## BBQ大会

Y・K

恒例の秋の大バーベキュー大会に参加しました。当日は、暑いくらいの晴天でしたが爽やかな行楽日和。私の席は1番テーブルでした。しかし、遅刻したうえ、ほとんどの時間を他のテーブルで過ごしてしまいました。1番テーブルだった皆様すみません。

バーベキュー大会には数年前から毎年参加させてもらっています。運営に携わる役員の方々やボランティアの皆さんが忙しく働くのをしり目に、いつも楽しんでばかりの私でした。が、今年は縦横夢人に寄稿することになりました。

頸損連絡会のイベントには、これまでも多くはないですが参加しており、人との交流のほか情報収集を一番の目的に参加していました。私が頸損になったのは約20年前、ラグビーをしているのケガでした。その当時の私は目先の衣食住をはじめ、将来のことまで課題が山積の状態でした。あらゆることに不便を感じていましたが情報収集等の機会はあまりなく、こうした集りの果たす役割は大きいです。今でも参加することでいろいろな人からいろいろな体験談等を見聞きし、自分もこんなふうの人に話せる体験を積んでいかなければと、前向きな気持ちになります。

ここ数年、在宅で生活するための選択肢は増え、便利になってきています。公共の交通機関等の移動手段や、旅行の際の宿泊も良くなってきました。確かに不自由はつきもので、ひと昔前にあった違和感を未だに受けることもありますが、良い方向へ変わっていくのはありがたいことです。

毎年参加するバーベキュー大会でも、年々変わってきているなど感じるいろいろなことがあります。そのひとつは、ボランティアに来てくれている学生さんたちをはじめ、若い世代の障害者に対する認識が変わってきているということです。物理的なハード面のバリアフリーに対し、ソフト面のバリアフリーともいえる世間の理解が進んできているなど。世間の認識は少しずつ変わり、若い人たちがこれから活躍していく世間はもっと変わっていくのでしょうか。

障害を受けて間もないころの私は、混雑するエ

レベーター内で乗り合わせ子供たちの、車いすを見詰める熱い視線にプレッシャーを感じたものです。また、街の中にスロープが少なかったころ、スロープは良くも悪くもやや目立つ異質な存在でした。そのスロープを使う自分も異質な存在なのか？と、被害妄想的な感情もありました。そう感じていた一方、スロープで遊んでいる子供たちを見かけては、スロープが楽しいのかな？不思議に思いながら、そして、自分がスロープを上る一部始終、やはり子供たちから熱い視線を受けるのです。自分にも緊張や構えがあったのかもしれませんが。今では興味津々にこちらを見詰める子供たちに、こちらから声をかける余裕もあります。

若い皆さんは幼少のころ、車椅子を見かけたことはあるのでしょうか？見かけたことがある人は、その時どんな思いだったのでしょうか？私は残念ながら、自分が車椅子に乗るまで、車椅子を見たという記憶がありません。もしかしたら、私が見かけたかつての子供たちは、若い皆さんの中にいるのではないのでしょうか？これは、来年のバーベキュー大会に参加して、聞いてみたいと思います。来年も、この先も、秋の大バーベキュー大会が、恒例のイベントとして続いてほしいと思います。

8月に東京でラグビー日本代表戦を観戦。この時は日本がW杯であんなに活躍するとは…。



## BBQ 大会を終えて

米田 進一

### 1. はじめに

暑夏を乗り越え、毎年恒例となっている兵庫 頸髄損傷者連絡会が主催する秋の BBQ 大会を迎え、今年も多く参加者が集い、天候にも恵まれ、笑顔溢れる一日となりました。その報告をしたいと思います。

### 2. 大会を前に

9 月下旬の BBQ 大会当日の朝、いつもより早く目が覚め、「今年も楽しく無事に終わりますように」と気合いが入っていました。大会役員で若手車椅子の当事者は昨年より、各担当の準備もスムーズに進めることが出来たと思います。



事前確認の様子

### 3. いざ本番

予定時間の 11 時 30 分になると、サイト側へ移動し、会場内へ参加者を誘導し始めました。テーブルの配置図を各参加者に分かるように、テーブル上の真ん中に貼り付け各班へ分かれて貰いました。長椅子が炉の近い側では焼き係の人が邪魔になるので、各班 1 脚ずつ撤去していきましました。ある程度参加者が各テーブルについたところで、食材と飲み物を人数分配膳してもらいました。

サイト側に火起こしをしてもらい、ようやく開始時間となる正午に坂上副会長が開宴のご挨拶をされ、土田さんから乾杯の音頭を取って楽しい宴の始まりです。やはり正午ともなると気

温も上がり、屋根があるとはいえかなり暑いです。時々吹く海風が気持ち良くて風下に立てば、煙と共にお肉の焼けたいい匂いが漂うとお腹が減っていたのもあるせいか、より食欲をそそります。ぐう～ぐう～っと自分のお腹が鳴りすぎてスタンバイ OK!

焼けた！焼けた！さあ、みんなでお肉を食べよう！と言わんばかりに箸が進みました。お肉が旨いのは、きっと愛情を込めて焼いてくれた方達が頑張ったからですね。



美味しく焼きましたよ～



歓談の様子

歓談が進む中、少し時間が経ってから、今回東京よりご参加頂いた C さんのご希望で、「頸髄損傷者の生活の質」についてアンケート調査の依頼を自らの声で募られておられました。

兵庫頸損連絡会が主催する BBQ 大会が始まって私が知る限りでは 8 年目にあたり、ここ数年は天候運も良く何とか中止もせず開催できており、毎年参加頂いている方は勿論ですが、遠方からは 3 年前に東京からご参加頂いた C さんや鳥取県から O さん、そして初参加された方も来て頂いた事に大変嬉しかったです。



学生さんと記念写真

#### 4. 改めて思うこと

毎年の事ですが、新たな出逢いを求める為、会員はもとより各学校や医療関係者等、各点々と参加者を募り、未だかつて外出さえ出来ない方々にも、この様なイベントにも参加してもらう為にも、情報提供をしてもなかなか情報が伝

わっていない事が今置かれている難しい点だと認識している事です。もっとやるべき課題も多くありますが、今年もまた新たな出逢いもあり、充実した大会になったのではないのでしょうか。



東京からご参加頂いたCさん（中央車椅子）

#### 5. 最後に

今回参加された方達にご協力をお願いするにあたり、来年も更に新たな出逢いを期待したいと思っておりますので、皆様、またご参加を心よりお待ちしております。この場をお借りし、BBQ 大会実行役員を代表し、ご参加頂いた多くの皆様に厚くお礼申し上げます。



記念撮影 総勢 67 名！！

沢山のご参加ありがとうございました！！

## バーベキュー大会に参加して—大学生のみなさんの感想—

この度は9月27日開催の兵庫頸髄損傷者連絡会のバーベキュー大会にボランティアとして参加させていただきました。誠にありがとうございました。私は今回初めて、頸髄損傷された方々と関わらせていただきました。お話してみても明るい方々ばかりで助かりました。また器用に車椅子を操作する姿に感動しました。バーベキューには他の大学の学生も参加しており他分野の話をうかがい良い刺激になりました。ボランティアらしいことはできませんでしたが様々な方々とお話することができ楽しい1日を過ごすことができました。この経験をきっかけに頸髄損傷についてもっと知りたいと思いました。次回、また機会があればボランティアに参加し他の方々とお話してみたいです。このたびは貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

神戸学院大学 R. N

今回のバーベキュー大会は去年に引き続き、二度目の参加であり、去年より幅広い視点で見ることが出来ました。バーベキュー大会のような行事があることで、普段はあまり外に出る機会が少ない人に、参加してみようかなと思ってもらえることが大切だと感じました。また、参加することによって関わったことがない人と関わり、輪を広げるという意味においては貴重な交流の場であると思いました。ボランティアという立場であるものの、楽しみながら交流が出来るというのは学生の立場上、普段では経験することの出来ない経験でした。楽しみながらも学びの場となるこの度の機会をいただけたことに本当に感謝です。ありがとうございました。

神戸学院大学 M. H

一度もボランティアに参加した事がなく今回初めてボランティアに参加させていただきました。今回たくさんの頸髄損傷者の方々と触れ合う事が出来て、ヘルパーさんとの信頼関係が強いなど見て感じました。また、理学療法士の方や作業療法士の方、学生の方々と様々な話をし、情報交換や交流を深める事が出来ました。来年から病院で理学療法士として働く身として夜勤のヘルパーさんの減少により多くの頸髄損傷の方が困っておられる現状を知り、また、食事中に使用しておられた福祉用具を拝見するなど、貴重な体験をさせていただき、今後のスキルの上昇に繋がるとても有意義な時間を過ごす事が出来ました。今回のボランティアで経験した事を生かしていくためにまずは国家試験に向けて勉強に意欲的に励んで行こうと思います。

甲南女子大学 Y. I



## 会員報告

### はがき通信懇親会 in 横浜

山本 智章

去る 2015 年 10 月 2 日(金)～4 日(日)に四肢麻痺者の情報交換誌「はがき通信」懇親会が横浜にて開催されました。私は 1 泊 2 日の予定で 2 日(金)に「かながわ県民センター」にて元ハンセン病回復者の石山春平さん「ハンセン病を生きて」の講演会に参加し、その後に崎陽軒本店で行われた夕食レセプションに参加してきました。3 日(土)は 1 日観光で自由行動だったことから中華街に行ってきました。

この 2 日間、一緒に行ってくれる介助者は学生ボランティアさんです。東京大会、しあわせの村宿泊体験合宿に続いて 3 回目です。今回も初めて会う学生さんとの旅行だったので家に来てもらい介助練習を行いました。介助練習の内容も前回と同じなので伝えたいことも同じです。自分がしてほしいことを相手に伝えるように言うだけです。でも、介助者が変われば伝え方が同じでも伝わる人とそうでない人もいます。今回の介助練習においても相手に伝えるように伝えることが難しく、また大事だと感じました。

当日までに学生さんと 2 回会いました。そのうち介助練習は 1 度だけでした。もちろん、不安はありましたが「なんとかかなるか」と前向きに考えることができていました。そう思えたのも東京大会、しあわせの村宿泊体験合宿を経験していたおかげで“初めての介助者”と旅行することに少し自信があったのかもしれませんが。

当日、JR 明石駅に学生さんと 9 時 30 分に集合して JR 姫路駅に向かいます。姫路駅で兵庫頸損連の島本さんともう一人の学生さんと 11 時に待ち合わせをしていました。全員が揃ってから昼食をコンビニで購入して“準備万端”いざ横浜へ姫路駅を 11 時 49 分発のぞみに乗り新横浜に向かいました。車内では昼食を食べながら他愛もないお喋りをして、時に携帯の地図アプリを使い現在地から移動している私たちのスピードが異常に速いことに驚いていました。そんな風に楽しく過ごしていると新横浜駅に着きました。電車の中で過ごした時間がとても早く感じられました。



旅の仲間、新横浜駅にて

かながわ県民センターに着いたのが 16 時頃でしょうか。もうすでに会場では石山さんの講演会が始まっていました。私は、ハンセン病について何も知りません。名前も聞いたことがないぐらいです。石山さんの話を聞いてハンセン病患者は地域で言う部落みたいなもので病名を聞くだけで差別されてしまうような難病だと伝わりました。例えば親戚にハンセン病患者がいるという理由で結婚ができないことがあったそうです。

最後に石山さんから「開き直りが大事」と仰っていたのが心に残りました。これから私が生きていく中で色んな所で必要な言葉だと感じました。

講演会が終わり横浜駅前にある「ベイシエラトンホテル&タワーズ」に移動。チェックインを済ませてレセプション会場の崎陽軒本店へホテルの地下から移動。道中まったく道が分からず迷子に。地下街の店員さんに聞きながら、地下を散策してようやく到着。今回の「はがき通信懇親会」は、なんと発行 25 周年、懇親会 20 年と節目の年でした。初参加でメモリアルな年に参加できて嬉しかったです。頸損の母こと松井先生の挨拶があり、兵庫頸損連の伊藤さんの乾杯の音頭で交流会が始まりました。先程、地下をぐるぐる動いてお腹がピークに空いたころでした。食べ物はバイキング形式で飲み放題、なんて嬉しいことでしょうか。まず崎陽軒と言えば“しうまい”を食べ他の料理も食べて本場の中華を満喫できて横浜に来

て良かったと思い、ひととき食べることにばかりに集中していました。



綺麗に盛りつけされた料理

ほどよくお腹もいっぱいになり、同じテーブルのKさんと話をしていました。お互いの自己紹介や日常生活の世間話からKさんの自立生活についての話など大変盛り上がり勉強にもなりました。

レセプションも終盤に入り参加者全員が自己紹介をすることになり、皆さんの話し方に特徴があり会場から笑いがでるなど楽しい時間でした。

最後に参加者全員で記念撮影をして楽しいレセプションが終わりました。



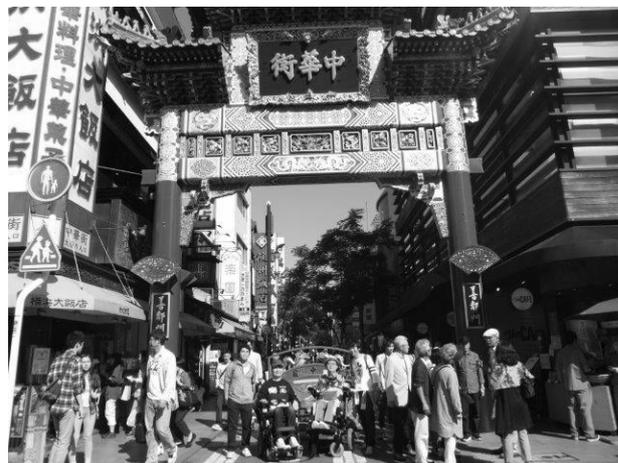
崎陽軒本店レセプション会場

ホテルに戻り、荷物の整理をしてから夜食に買っていた“わさび味のカラムーチョ”を食べながら明日はどこに行こうかと話をしていました。少し休憩をしてから学生さんはベッドに移乗するお手伝いに行ってくれました。自らの意志で移乗のお手伝いをするとおっしゃってくれた積極的な学生さんに嬉しくて感動しました。朝食を買いに深夜

0時頃、ホテル近くにあるコンビニへ行きサンドイッチとコーヒーを買いました。ホテルに戻ってからも話をしたり買い物に行ったりとバタバタで就寝時間は夜の1時30分でした。こんな遅い時間になり学生さんに申し訳なく思いました。明日のために眠りました。

翌日、起床は6時30分で学生さんは移乗のお手伝いに。私が車椅子に乗ったのが10時頃になっていました。バタバタと朝食を摂り荷物を片付けホテルをチェックアウトしました。この日は中華街へ行く予定です。みなとみらい線横浜駅に乗り元町・中華街駅で降ります。ここが有名な中華街かと駅から徒歩1分程で着きました。まず、休日で観光客の多さに驚きました。人混みで何度かぶつかりそうになるぐらいでした。

ぶらぶら、お昼ご飯を探しながら中華街を散策していると“中国料理世界チャンピオン”という看板が目にとまったのでこのお店に決めました。肉まんとうま子団子を注文して路地を入った所で食べました。ここ中華街で“男気ジャンケン”をすることになりました。理由は、6個入りのうま子団子を4人で仲良く食べ、残りの2個を誰が食べるのか決めることになったからです。結果、2回とも勝った私が食べることになり、しばらくうま子団子を見たくない気持ちになりました。



中華街善隣門

楽しく食事をしてから新横浜駅に向かいお土産を買って帰路に着きました。この2日間を通して“人がいれば旅行はできる”と改めて自信がかった貴重な経験になりました。学生さん達のおかげです。ありがとうございました。

## 横浜懇親会に参加して

星野 太志

私のはがき通信に関わったのは、15年くらい前か、横浜懇親会があるので遊びに来ないかと瀬出井さんから誘われた時でした。記憶は前後しますが、京都、広島、福岡、と参加させて頂きました。印象に残っているのは、10年前の福岡・懇親会です。夕食会で偶然にも向坊さんと同席になりました。

「明日の予定が決まっていなければ、我が家に来いよ！」と向坊さん。そして急な話にも拘わらず車の手配等もして貰い、北九州市から1時間くらい車で移動した海の近くの向坊さん宅に訪問する事になりました。

車道をしばらく移動してから山道の草の生い茂るところに行く。ぬかるみに足を取られ苦戦しながら着いたところは、玄界灘。遠くに船の行き交う海の眺めはすばらしかった。海風も心地よかったが、冬は寒さ厳しくフィリピンで半年くらい過ごされるのも理解できました。お宅の中も見学させて頂き、バーベキュー大会ともなった一日は楽しい思い出です。

あとで私は「はがき通信の創設者」である方と同席できたことを天の配剤と思いました。その後、向坊さんは体調を崩されて亡くなりましたが、色々と話が出来たことは忘れられません。

私はやがてスタッフとして京都で、沖縄では司会を務めさせて頂きました（緊張し過ぎてすみません）。スタッフという役割は舞台裏での苦労もありますが、全体を把握することも出来、司会をすれば人前で話すことにも慣れてきて、良い体験になりました。

今年の横浜懇親会2日目は新潟のHさん&W（付添）、私&A（付添）さんの4人で鎌倉&江ノ島へ行く事となりました。9時にホテル2階に集合、鎌倉駅へ。電車の待ち時間もありませんでしたが10時過ぎには「小町通り」に到着。この時間は人通りが少なくHさんもゆっくりとお土産を買い、鳥居の前の交差点を通過、TVで放送される流鏝馬の通路を横切り、鶴岡八幡宮の階段前横の大銀杏の前で記念撮影。次に鎌倉国宝館へ到着、

建物は古いが大きなEVで館内へ。ひと通り見て回りました。それにしても石畳は車いすには辛い。Hさんはバランスを崩しそうになりました。次は鎌倉大仏様へ。「江ノ島電鉄・長谷駅」下車。歩道が狭いので車道へ。やがて大仏様へ。外国人観光客も多い。帰路、高級そば屋で少し遅い昼食。さらに長谷駅から江ノ島駅へ。江ノ島へ渡り、Hさんは急な坂を登って神社の鳥居まで。帰りも狭い商店街の人の多さに驚きながら下の休憩所へ。帰りの橋の上から富士山を眺めつつ駅へ。江ノ島電鉄の始発駅（藤沢）から終点の鎌倉駅まで。本日、3回目の乗車。横浜には18時頃か。その後、皆さんと夕食。ホテル帰着は21時過ぎ。

以上のような強行軍で、Hさんには少ししんどい所もあったのですが、楽しかったようです。私も楽しみました。

3日目の話し合いは近況報告で、最近参加されていないAさんやBさんの近況も話題になりました。愚痴やため息もありましたが、正直なところ、体調や付添の問題をクリアして横浜まで来て下さった皆さんは上手に歳を重ねているように見えました。また、私も個人的に皆さんと会い、直に話が出来て元気を貰いました。

終わりに、皆様の健康を願いつつ、一つの区切りとなりました横浜懇親会、参加されました皆様どうもありがとうございました。



## 会員報告

## 国際福祉機器展 2015

兵庫頸髄損傷者連絡会 島本 卓

アジア最大の総合福祉機器展「第 42 回国際福祉機器展 H.C.R. 2015」が、10 月 7 日（水）～9 日（金）の 3 日間、東京ビッグサイトにて開催されました。見学してきましたので報告いたします。



3 日間での来場者 119, 075 人

同展は、車椅子や介護ベッドはもちろん、食品、衣料、住宅改修機材からハンドメイドの自助具、最先端技術を活用した福祉車両までさまざまな福祉機器・用品が世界中から会場に集まった。今回も 14 カ国 1 地域から 522 社（国内 461 社、海外 61 社）が出展し、最新機器、製品展示だけではなく、日本と共通する課題をテーマとした国際シンポジウムや、福祉機器、保健福祉、介護、褥瘡などの各セミナー、出展者によるプレゼンテーションが行われた。

### 国際福祉機器展の歴史を知る

私が国際福祉機器展に見学に来るのが、2013 年と今年で 2 回目となる。

第 1 回（1974 年）は、全国社会福祉協議会と厚生省の共催で始まり、当時は「社会福祉施設の近代化機器展」の名称。福祉施設職員の腰痛が問題とされており、施設内の設備の近代化、業務の省力化により、就労環境の整備や施設入所者への安全な介護の提供を目的に開催。

第 2 回からは、「社会福祉機器展」と名称を変え、第 15 回から H.C.R. (Home Care & Rehabilitation Exhibition) になった。

宿泊のお供にコレ！

私は、7 日（初日）の一般社団法人日本リハビリテーション工学協会「褥瘡セミナー」に参加するために、6 日から東京入りし、2 泊 3 日で見学を行った。

外泊で困ると言ったら、移乗です。今回は、ホテルのスタッフさんにトランスファーを手伝ってもらわずに「トラベルトラック」を持参して、移乗することにしました。



トラベルトラック

褥瘡をつくらない！

頸損歴 9 年目になりましたが、思い返せば在宅生活を始めてから 1 年を立たぬ間に「褥瘡」をつくってしまいました。最初の頃は、人差し指で押さえたぐらいの大きさで薄いピンク色でした。まさに自己判断ミスと、自己管理ができておらず、どんどん状態は悪くなり手術をしました。その後、褥瘡予防を日々続けています。

「褥瘡セミナー」で、事例発表をされた K さん、F さんの話に参加者の関心を集めていた。その中でも私は、K さんの「ジーンズ」への工夫は興味深かったです。ジーンズを履くのですが、ポケット部分の生地を重ねることによる皮膚への圧迫。履いている間に痙性でジーンズにシワができたり、ズレたりすることに困っていました。ポケットを外したりしていたんですが、圧迫による負担は少ししか軽減できなかった。

K さんから、「女性用のジーンズ」を使ってい

るという話に驚きました。フィット感だけでなく生地の柔らかさなど考えても見なかったです。「褥瘡セミナー」で、予防と工夫を知ることができて良かったです。

### 次世代車椅子

実際に「WHILL」を見たのは初めてだ。「100m先のコンビニに行くのをあきらめた」の一言から開発が始まったそうです。デザインも車椅子のゴツゴツ感、デカイイメージを感じさせない。なんと前輪にはロボット工学の分野が取り入れられた「オムニホイール」で、24個のローラによって細やかな方向転換ができる。



### WHILL

次世代車椅子をチンコンで操作できる日を楽しみにしている。オシャレに乗りたい!

### 癒やしのパートナー

介助犬ブースにいくと、「介助犬PR犬 エピちゃん」が車椅子の横にピタっと。



介助犬PR犬 エピちゃん

介助犬は、ユーザーの体の一部というべき重要な存在なんです。ドアの開閉やテレビのリモコンなどを手元に持ってきてくれたり、ペットボトルを開けたり、割箸を割ったりする手作業の介助も。

### 観光への一歩

「JINRIKI®」は、前輪を持ち上げて引くけん引式車椅子補助装置です。今まで難しかった悪路でも車椅子のスムーズな移動を実現します。緊急避難時はもちろん、アウトドア活動や外出時などの一時的な用途にも活躍します。「JINRIKI®」を見ていて、観光人力車が思い浮かんできました。障害者の観光めぐりを「JINRIKI®」で出来たらいいなと思います。

### 食事介助ロボット

「マイスプーン」という機器で、顎を使っでの操作で自分で食事ができる機器です。私が病院で入院しているころに、実際に「マイスプーン」を使って食事をしていました。食事を自分のペースで食べることができて、食事の時間が楽しくなりました。自分でできるって、素晴らしいです。

### 終わりに

国際福祉機器展の見学を終えて感じたのが「日本の福祉機器ってここまですごいな！」と驚きました。福祉機器メーカーの技術力もさることながら、高齢者や障害者のニーズに応えようと取り組まれている。沢山の福祉機器が展示されていたのですが、個人的に残念な思いもある。「技術シーズ」としての役割は大きいですが、「ニーズ志向」ではないように感じる。福祉機器開発が競争となっているが、競争でなく「ALL JAPAN」でやっていかなくてはならない分野だと私は思います。一番大切にしてもらいたいのは障害当事者が「社会参加しやすい環境」だ。福祉機器は住環境と一緒にQOLの改善につながる。

障害当事者が使いやすいだけでなく「支援者」の負担を軽減させることも大きなポイントになる。福祉機器の基本的特質は「人としての尊厳と生活の質の向上を目的として個人が使用する」点にあると言えるだろう。しかし、「福祉」について、また新しい見解やアイデア、以前とは違う課題などが生まれてくるのかもしれない。

## 会員報告

### 灘のけんか祭り

兵庫頸髄損傷者連絡会 土田浩敬

こんにちは。

兵庫県姫路市白浜町の松原八幡神社で行われる秋季例大祭、通称「灘のけんか祭り」へ行ってきました。正式には「松原八幡神社秋季例祭風流」といい姫路市と兵庫県の重要無形民俗文化財に指定されています。10月を“祭り月”と呼ぶほど播州地域（主に兵庫県南西部）で様々な祭りが行なわれています。

そもそもなぜ今回、「灘のけんか祭り」を見に行こうと思ったきっかけは、去年高砂市にある曾根天満宮の秋季例大祭を見に行ったからです。絢爛豪華で様々な装飾を施してある勇壮な屋台は迫力があり芸術品です。各地域で一致団結して祭りを、そして地元を盛り上げる姿、祭りに対する強い思いに心を打たれました。祭りの非日常な雰囲気とずらりと並ぶ露店、老若男女全ての人の思いが、秋季例大祭を作り上げているのだと思いました。そんな播州の秋祭りに次回も参加したいと思ったわけです。



**絢爛豪華な祭り屋台**

本宮が15日、知人で頸損の伊藤靖幸さんと見に行ってきました。そして、灘在住で車椅子利用者の林さんに祭りを案内していただきました。最寄りの山陽電車白浜の宮駅で林さんと待ち合わせました。以前、白浜の宮駅を利用した時よりも人が多いです。皆さん灘のけんか祭りを見に来られた方が殆どで、沢山の人の祭りが周知されているのだと実感します。程なくして林さんと合流。林さんから赤い鉢巻きをいただきました。この赤

は旧松原村の赤で、これを身に付けていると困った時に助けてくれるとのこと。赤い鉢巻きを身に付けると、祭りを見に来た実感が、より増して来ました。白浜の宮駅から歩いてすぐ、松原八幡神社に着きました。境内には屋台と沢山の人が溢れ帰っています。各村の屋台を担ぎ上げ、堂々とした姿を見せ観客を魅了しています。「一の丸」「二の丸」「三の丸」それぞれの神が乗り移られた神輿を担ぎ上げ、三基の神輿を激しくぶつけあう。これがけんか祭りの語源だそうです。

境内から神輿が出て来て、御旅山の方へ向かうのですが、道中も笛の音と太鼓の音が祭りの雰囲気盛り上げます。御旅山の麓で三基の神輿を激しくぶつけ合います。観覧客で山肌を埋め尽くすほどの人で、その風景も圧巻でした。人の数が凄くて御旅山での神輿がぶつかり合う様子は伺うことが出来ませんでした。祭りの雰囲気は十分味わうことが出来ました。



**皆さん一致団結する姿に心を動かされた!!**

車椅子でも季節の行事、地域の風物詩を体感したいものです。中でも、播州の秋祭り、地域ごとに特色はありますが、それぞれに共通することは地元への思い、祭りに対する情熱ではないでしょうか。代々受け継がれてきた播州地域の風習、今後も発展するとともに、魅力あり続ける秋祭りであって欲しいと感じました。

## 会員報告

### 秋の京都・大阪合同交流会

I・Y

10月11日に大阪・京都合同交流会、東映太秦映画村に行ってきました。映画村に行けるって事、初めて会う方と交流ができるという事でワクワクしていました。それだけでなく私は高校卒業後から事故するまで専門学校と就職で京都で生活していたのでなおワクワクしていました。三田駅から JR で京都駅まで行き、乗り継ぎで目的駅の太秦駅まで向かいました。向かっている途中に専門学校の看板が見えた時はなぜかテンションが上がりました。(笑)そして専門学校の周りも変わっていて不思議な感覚になりました。

テンションもあがったところで太秦駅に着き、大阪の島本さんと合流し東映太秦映画村に向かいました。列に並ぼうとすると係員の方が車いすの方はこちらと誘導してくださり、介助者にチケットを買ってきてもらいすぐに入ることが出来ました。入ってすぐ忍者の置物があり記念に一枚。



立体迷路忍者の砦、からくり忍者屋敷など映画村には忍者がいっぱいいるのです。そして集合場所である中央広場に向かいます。初めての方、久しぶりの方と顔を合わせ、スターズカフェ CHANBARA で九条ネギラーメンとチャーハンを食べました。九条ネギの食感と旨さはたまらなく、京都に来たんだと改めて実感しました。

食べてからは自由行動で御利益大明神を見に行きました。これはある時間になるとゆっくり流れている滝の勢いが激しくなり、奥の木が高くなりそこから御利益大明神が出てくるというもの

で、体調よく生活が送れますようにとこっそりお願いしておきました。

その後は長屋を見に行きました。一軒一軒丁寧な作りで感動し、数が多く圧倒されました。14時に関係者の方が撮影の裏話やエピソードなどを話されるということで聞きに行きました。1つ目に門が入った撮影するときはなるべく門を開けずにするそうで、これは門の後ろが何もないためだそうで門を開けないといけないシーンは後ろが見えないようにカメラや向きを調整されるということです。2つ目に壁が移るシーンではカメラの位置を上から撮ったりして外の風景が移らないようにされるそうです。話の中で私が一番驚いたことはすぐ横で普通に電車が走っているということです。そのため電車が走るときは撮影を中止して通り過ぎてから撮影を始めるということをするそうです。め組の家も見ました。その暴れん坊將軍(徳川吉宗)のドラマに出てくる、江戸町火消しの1つ「め組」です。町中に舞妓さんや袴を着た人がたくさんいて雰囲気もそうですし実際話をすると映画村に来たと感じました。

今回この映画村に参加できて京都、大阪頸損の方と交流出来ました。これからも京都、大阪頸損の方たちと交流を深めていきたいと思いました。今回このような企画に呼んでいただきありがとうございました。



参加者全員で記念撮影

## 活動報告

## 兵庫頸髄損傷者連絡会 定例会報告

島本 卓

去る 11月8日(日)雨天の中、プレラ西宮中央公民館、402号室において兵庫支部の定例会を開催しました。兵庫役員3名が欠席というハプニングもあり、初司会デビューをした私でした。参加者6名のご協力のもと、前期活動報告、機関誌「縦横夢人」、後期活動計画確認、第6回兵庫支部総会日程などの議案について話し合いました。

## 若きメンバーよ、立ち上がれー!ー

兵庫役員3名の体調不良はとても大きな危機です。しかし、重度障害者の自立を支援するセルフヘルプグループとしての責務は我々「若きメンバー」が引き継ぎ、今立ち上がらなければならないと思っています。積極的な行事開催を展開できていますが、兵庫頸損連絡会に新しい風を取り入れていきながら活性化につなげて行きたいと思えます

機関誌発行の再開ができたことは当会としてもようやく本来の情報発信ができるようになりました。多くの頸髄損傷者のニーズに応えられる情報を提供するために、役員会部員メンバーが集結し、年4回の発行を目標に奮闘しています。我々を必要とくださっている方たちからの期待をパワーにして、皆さんと共に重度障害者の自立への可能性を切り開くために兵庫頸損連絡会は様々なことに挑戦して行きたいと思えます。これからも皆さんのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます



来年度の事業計画

支部総会・

：日時 2016年4月16日(土) 兵庫支部総会 13:30～16:00

場所：西宮市

## <行事のお知らせ>

日 時	内 容
12/12 (土)	忘年会 兵庫支部主催
1/24 (日)	新年会 大阪支部主催

**今年をシメくくるのは、やっぱり兵庫頸損連絡会の忘年会でしょう！**

**新しい年を迎えるべく、思い残すことなく今年を食べつくせ!!**

今年も残り少なくなりました。頸損年末行事「忘年会」を以下の日程で行います。  
 沢山のご参加、是非お待ちしております！！

- 開催日時 12月12日(土) 12:30より忘年会開始 16:00頃 終了予定
- 受付 11:30～12:00(神戸市役所 24F 百済店入り口)
- 会場 百済(くだら) 神戸市役所1号館  
<http://tabelog.com/hyogo/A2801/A280102/28029402/>
- 住所 兵庫県神戸市中央区加納町6-5-1(神戸市役所本庁舎1号館 24F)
- アクセス JR・阪神三宮駅から徒歩5分、地下鉄海岸線三宮花時計駅から徒歩1分

◎参加費 当事者、介助者、一般参加者 2500円 ※参加費の中にはワンドリンク付き  
 ※飲み物は当日にお聞きします。

(注文以外の追加料理、飲み物については自己負担になります)

★申し込み締め切り 12月9日(水)まで

石焼きビビンパ	とうふチゲ	キムチチゲ	シレギスープ	トック
小鉢4品	小鉢4品	小鉢4品	小鉢4品	小鉢4品
おかず1品	おかず1品	おかず1品	おかず1品	おかず1品
スープ	白ご飯	白ご飯	白ご飯	白ご飯
韓国のみ	韓国のみ	韓国のみ	韓国のみ	韓国のみ
A	B	C	D	E

**久しぶりに会う友人と語り、新しい仲間とふれあい、**

**軽食とドリンクで潤い、余興で楽しく、ゲームでお土産ゲットしよう！**

日時：2016年1月24日(日) 12:30受付～16:00頃予定

場所：大阪市長居障害者スポーツセンター2階・1、2、3会議室大阪市東住吉区长居公園1-32

TEL06(6697)8681 地下鉄/市バス/JR利用

■地下鉄御堂筋線「長居」駅1号出入口から北へ約140m

■市バス地下鉄長居から北へ約310m ■JR阪和線「長居」駅東口から東へ約170m

# 兵庫頸髄損傷者連絡会 入会案内

兵庫頸髄損傷者連絡会は、兵庫県及びその近郊に在住する頸髄損傷者（以下、「頸損者」と略す）及びそれに準ずる肢体不自由者の生活を明るく豊かなものにするために、日常的な、しかし最も基本的な「介助」や「移動手段の確保」といった問題を出発点として、重度身障者がこの社会の中で、いかにすれば自立性を失わない、真に人間的な生活を送れるかについて、会員及びそれを取りまく人々と共に考え、実現することを目的とし達成する為に次の事業をおこなっています。

## (1) 頸損者の生活条件整備のための広範な活動

- ・自治体などの要望活動
- ・街づくりや公共交通機関などの調査
- ・生活関連情報の収集研究
- ・宿泊訓練
- ・その他学習会や交流会

## (2) 機関誌の発行、必要文献の提供

- ・「頸損だより」「事務局通信」の発行
- ・ビデオや文献の貸し出し、配布

## (3) 交流を深めるための集い、レクリエーション

- ・街に出よう
- ・運動会
- ・忘年会
- ・その他、見学会、交流会

## 本会の会員は

- ・兵庫県に在住、または県外在住でも入会をされた頸損者（正会員）
- ・会の活動を手伝ってくださる方々（協力会員、ボランティア）
- ・それ以外の地域在住で機関誌の購読を希望する方々（購読会員）

などで構成されています。また、本会正会員になることで自動的に全国頸髄損傷者連絡会（本部：東京）の会員になります。

※入会、協力、購読を希望の方は、下記事務局までお問い合わせください。

入会申込書をFAXか郵送いたします。ホームページからの入会も可能です。

**★カンパも受け付けています★**  
**兵庫頸髄損傷者連絡会の活動に是非ご協力ください。**

## 振込先

郵便振替口座：00990—8—265974

口座振込名義：「兵庫頸髄損傷者連絡会」

ゆうちょ銀行 ○九九店 当座預金 口座番号0265974

振込名義：ヒョウゴケイズイソンシヨウシヤレンラクカイ

三菱東京UFJ銀行 明石支店 普通預金 口座番号4787703

振込名義：兵庫頸髄損傷者連絡会 会長 三戸呂克美

## 兵庫頸髄損傷者連絡会 事務局（臨時窓口）

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘1丁目1番地の1 フローラ 88 305B

特定非営利活動法人ぼしぶる内

TEL 079-553-6400 FAX 079-553-6401

E-mail : hkeison@yahoo.co.jp HP : <http://hkeison.net/>

って何？



人間の身体には、首から腰の辺りにかけて背骨といわれる太い骨があります。その背骨の中には「脊髄(せきずい)」と呼ばれる太い神経の束が通っていて、この脊髄は手や足を動かして運動したり、「暑い・寒い」や「痛い」などを感じたりする神経などがたくさん集まっており、すべて脳につながっています。この神経はとても大事なもので、1本でも切れたりすると手が動かなくなったり、足が動かなくなったりします。中でも脳に最も近い部分の神経のことを「頸髄(けいずい)」と呼び、その神経を損傷してしまうことを「頸髄損傷」と呼びます。その頸髄神経が切れてしまうと人間の体は大変なことになります。体が動かないことに加えて、温度を感じることができなくなり「暑い」「寒い」がわからなくなって「体温調節」をすることができなくなります。汗もかかなくなり、体の中に熱がこもります。痛みなども感じなくなるので、ジッとしていると体の一部が圧迫され、その部分に「褥創(じょくそう)」と呼ばれる、皮膚や肉が死んで穴が空く状態になり、放っておくと死に至る可能性もあります。

そして、頸髄損傷には損傷を受けた部位によって「やれること」「動く部分」の範囲が変わってくるという特長があります。首から下が動かない人もいれば、車椅子を自分でこぐことができる人もいます。自動車を運転できる人までいるんです。頸髄損傷といってもその症状は千差万別で、“全く同じ状態の人”を探すのは困難なのです。

もし今後、頸髄損傷の人の介助をすることがあったなら、まずその人に身体の状態を聞いてみてから、適切な介助を心懸けることが望めます。まずは聞くことが第一です。大抵の人は身体の状態を教えてくださいと思いますよ。

## ～編集後記～

この度、縦横夢人は10号目を発行することになりました。創刊号は2010年9月。約5年間と長いようで短い期間でした。ようやく10号目の発行ができたことに達成感を感じると共に“まだまだ、これから”だなと気が引き締まる思いにもなります。この1年間は縦横夢人の発行が定期的に行われていると思います。これからも、コンスタントに発行ができるように頑張っていきたいと思いますので宜しくお願い致します。今回の特集は「兵庫のグルメ」と題して皆さまにお勧めしたいお店情報を掲載しています。ぜひご覧ください。(T. Y)

### 個人情報保護についての当会の方針

当会では、会員の皆様の個人情報の取り扱いにあたりましては、個人情報が個人の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱われるべきものであることに鑑み、権利利益を保護するために、最善の配慮を行っております。

『縦横夢人』2015 秋号(NO.10)

2015.11.24.

編集者：兵庫頸髄損傷者連絡会

編集責任者：兵庫頸髄損傷者連絡会 編集部長 土田浩敬

本部：〒674-0068 明石市大久保町ゆりのき通2丁目3-5-1-205(三戸呂方)

TEL&FAX：078-934-6450

臨時窓口：〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘1丁目1番地の1

フローラ88 305B 特定非営利活動法人ほしびる内

TEL：079-553-6400 FAX：079-553-6401